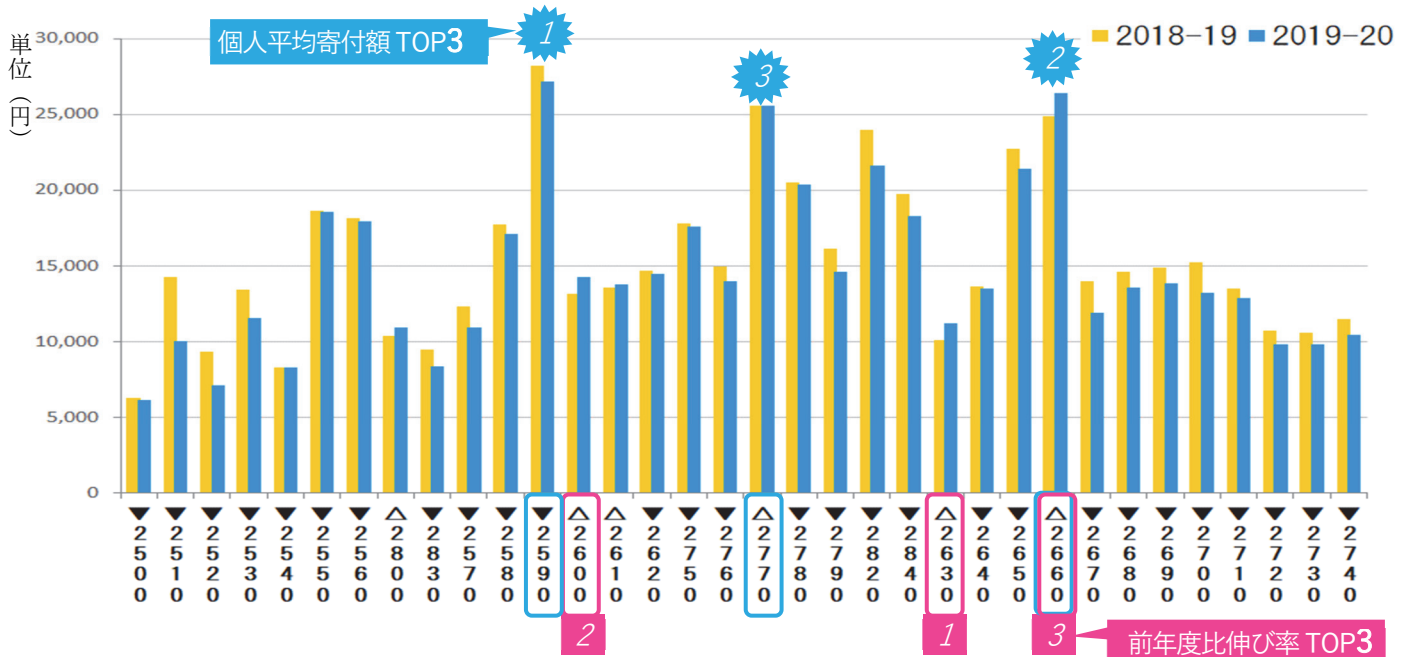




1. 2019-20 年度寄付金結果

2019-20 年度の寄付金は約 13 億 3,600 万円でした。新型コロナウイルスの影響により 2 月から寄付が徐々に減少し始め、最終的に前年度比 5.3%減(普通寄付金:1.3%減、特別寄付金:7.1%減)、約 7,500 万円の減少となりました。2019 年度予算は 13 億 7 千万円で見積りしましたが、予算達成とはなりません。このような苦しい状況にも関わらず、皆さまからいただいたご支援に心より御礼申し上げます。今年度も引き続き、ご支援ご協力を賜りますようよろしくお願い申し上げます。



個人平均寄付額 TOP3 【全国平均：15,055 円】

- ① 第 2590 地区：27,190 円
- ② 第 2660 地区：26,378 円
- ③ 第 2770 地区：25,592 円

前年度比伸び率 TOP3

- ① 第 2630 地区：111.5%
- ② 第 2600 地区：108.2%
- ③ 第 2660 地区：105.9%

2. 事務局長交代のお知らせ

6 月 30 日をもって岩邊俊久が事務局長を退任し、7 月 1 日より柚木裕子が新たに事務局長に就任しました。



【就任のご挨拶】ロータリー米山記念奨学会は設立以来、多くのロータリアンの皆さまのご尽力で公益財団法人として立派な業績を築かれてきました。その組織が円滑に運営されるよう事務局の立場から支えていき、次へしっかりと繋ぐというのが私の役割であり、その責任を感じています。事務局職員と力を合わせ、広くコミュニケーションを図りながら透明性を高め、

信頼していただける事務局づくりを心掛けてまいります。コロナウイルス禍によるさまざまな課題に直面していますが、役員の方々の活動に寄り添いながら、米山奨学事業を支えていくことのできる組織を目指したいと思います。今後とも皆さまのご理解とご支援、ご協力をどうぞよろしくお願いいたします。

(公財)ロータリー米山記念奨学会 事務局長 柚木 裕子
ゆのき ひろこ
愛知県出身。1972 年から 1 年間、財団奨学生としてフランスに留学。93 年より第 2780 地区ガバナー-事務所勤務を経て 2020 年 7 月から現職。日本ロータリー-学友会幹事。第 2780 地区かながわ湘南 R C 創立幹事。

事務局の立場から支えていき、次へしっかりと繋ぐというのが私の役割であり、その責任を感じています。事務局職員と力を合わせ、広くコミュニケーションを図りながら透明性を高め、

3. 理事会開催報告

6月16日に東京で開催を予定していた第25回理事会は、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、書面による決議となりました。一般法人法第96条（定款第37条）に基づく理事会の決議の省略の方法により、6月19日付で全提案について、原案通り承認可決する旨の理事会決議があったものとみなされました。

【主な議案】

役員候補者指名委員選任の件／2021学年度 米山奨学生採用の件／2021学年度 募集要項の件／

2020年度 事業計画書承認の件／2020年度 収支予算書承認の件／2020年度 資産運用方針の件／事務局長人事の件

奨学生採用数は、寄付金収入から算定した人数のほか、配当金収入や積立金取崩収入からの人数を加算して決定されます。本理事会の決定により、2021学年度の採用数は、前年度比30人（枠）増の890人（枠）となります。なお、各地区の奨学生割当数は、6月19日に各地区にお知らせしています。

4. 米山学友中心のクラブが医療支援プロジェクト

米山学友を中心に設立された東京米山友愛RCと、その子クラブである東京米山ロータリーEクラブ2750が「医療物資支援プロジェクト」を実施しました。

このプロジェクトはメディカルマスク、感染症防止キット（防護服と靴カバー）、医療用ゴーグルを市場価格より安価に提供するもので、ロータリー関係者に広く呼びかけたところ、全国のロータリアン個人のほか、10地区41クラブなど約100件の申し込みがありました。購入者からは「おかげで地元の医療機関に寄贈することができた」、「まとまった数の医療物資を手に入れるのが大変だったので助かった」など、感謝の声が寄せられています。

この活動により、東京米山友愛RCはガバナー賞、東京米山ロータリーEクラブ2750はガバナー特別賞



をそれぞれ受賞。また、国際ロータリーからは世界で活躍するCOVID-19の活動の一つとして取り上げられ、実行委員の朴貞子さん（世話クラブ：岸和田RC）が2020年ロータリーバーチャル国際大会で活動を紹介しました。

4月に創立10周年を迎えた東京米山友愛RCは、新型コロナウイルスのため記念式典や奉仕活動の中止を余儀なくされました。そんな中、ロータリアンとして何か行動したいという思いから、林芳さん（東京麻布RC）と王輝さん（瀬戸RC）、中前 緑さんが発起人となって立ち上げたプロジェクト。朴さんは「オンラインでも、最高の仲間と最高の奉仕活動ができたことを誇りに思います。米山最高！」と、コメントを寄せてくださいました。

をそれぞれ受賞。また、国際ロータリーからは世界で活躍するCOVID-19の活動の一つとして取り上げられ、実行委員の朴貞子さん（世話クラブ：岸和田RC）が2020年ロータリーバーチャル国際大会で活動を紹介しました。

5. マレーシアの子どもへマスク支援

マレーシアでは6月24日から段階的に学校が再開しました。登校する生徒にはマスク着用が義務づけられており、貧しい家庭の経済的負担を少しでも減らしたいと、マレーシア米山学友会では計15,000枚超のマスク寄贈プロジェクトを開始。



ペナンの2校と、ジョホールバルの4校へはすでに寄贈を済ませ、今後18日に首都クアラルンプール市外の少なくとも6校へ寄贈予定だということです。

←ペナンの高校へ寄贈する
黄麗容会長たち